

第 4 学 年 国 語 科 学 習 指 導 計 画

4 年 2 組 指 導 者 五 十 部 大 暁

1 8 M (6 時 間) が本時

学 習 活 動	子 ど も の 意 識
第 1 次 「動いて、考えて、また動く」を読み、学習の見通しをもつ	3M (1時間)
学習内容 ・ 説明文の仕組みについて考えようとする意欲 (態)	
<input type="checkbox"/> 本文を読み、感想を交流する。(3M)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の説明文は「動いて、考えて、また動く」という題名なのだね。どんなことが書いてあるのかな。さっそく本文を読んでみよう。問いがないね。「大きな力を出す」には書いてなかった結果が書いてあるね。図があって分かりやすいね。高野さんは分かりにくいと思って入れたのではないのかな。読んで見て分かりやすい説明文だね。なぜ分かりやすいのかな。「動いて、考えて、また動く」の説明の仕組みについて考えてみたいな。まずは、「はじめ・中・終わり」に分けるのだったね。
第 2 次 文章構成や段落の役割について話し合う。	9M (3時間)
学習内容 ・ 段落の相互の関係を考えて読む (知) ・ 段落相互の関係についての考えの深まり (思)	
<input type="checkbox"/> 「はじめ・中・終わり」の分け方について話し合う (3M)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「はじめ」がよく分からないと言っている人がいたよ。「はじめ」はどこなのだろう。双括型ということは、「はじめ」と「終わり」に筆者の考えが書いてあるのだね。ということは、「まず動く、そして考える」が書いてある1段落が「はじめ」で8段落が「終わり」かな。あれ、でも7段落に「このように」があるよ。そうか、1段落に「長年の経験から、そのように考えるようになりました。」と書いてあって8段落にも「こうした経験から」という言葉があるよ。ということは、高野さんの経験が「中」になるのだね。ということは、8段落は「終わり」になって、7段落までが「中」になるのか。なら、高野さんは7段落の「このように」は何のためにあるのだろう。高野さんの経験のまとめを書いているのだね。
<input type="checkbox"/> 筆者が4・5段落を書いた意図について話し合う (3M)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高野さんの説明した走り方を実際にやってみただけど、よく分からなかったよ。「忍者がぴたあつと下り坂をかけ下りていくようなイメージ」ってどんなのだろう。高野さんはなぜ4・5段落を書いたのだろう。高野さんは走り方を伝えたかったのではないのかな。でも、高野さんが伝えたかったことは、「まず動く、そして考える」ことが大切だということだよ。4段落に「考えて分かった」と書いてあるよ。5段落には「発見をしました」とあるね。4・5段落は「考える」を書いたのだね。あ、「動く」は3段落に書かれていたよ。最初は何で書いたのだろうと思ったけど、4・5段落は考えを説明するために書いたことが分かったよ。文章を書くときにも、考えとつなげて書くことで読む人に理解してもらえるのだね。
<input type="checkbox"/> 6段落の必要性について考える (3M)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前の時間に6段落と高野さんの考えのつながりについて疑問があがっていたね。「まず動く、そして考える」にはつながっていないような気がするな。たしかに6段落がなくても7段落につながる気がするね。6段落は本当に必要なのかな。7段落に「いろいろためしなげら」と書いてあるけど、6段落には高野さんがためしたことは書かれていないよ。でも、高野さんが書いている「最高の走り方」のためには、走り方だけでなく、うでも必要ではないのかな。説明文では、「中」は、考えだけではなくて、他の段落ともつながりを考えて書かないといけないのだね。

第3次 段落相互の関係について自分の考えを文章にまとめ、交流する

6M (1時間)

学習内容 ・説明文の仕組みを生かして文章を書こうとする意欲(態)

□説明文の仕組みを文章にまとめて、読み合う(6M)

・「動いて、考えて、また動く」でも説明文の仕組みについて発見があったよ。文章にまとめておいて新聞などを書くときに使えるといいね。まず、双括型だね。「はじめ」と「終わり」に言いたいことをくり返して書くことで読み手に自分の考えが伝わりやすくなるよ。あと、話が長いときなどには「このように」などを使って一度まとめておくことも使えそうだね。また、「中」は、自分の考えを説明するために経験などを書くことが大切だったね。考えとのつながりを考えておく必要もあったよ。そうすることで、自分の言いたいことに納得してもらえるのだったね。ただ、考えだけではなくて他の段落ともしっかり繋がりを考えて書くことが大切なのだったね。他の人がどんなことを書いたのか読んでみたいな。あ、ぼくと同じことを書いているけど、分かりやすいな。そうか、ここはこのようにかいたらよかったのか。他の人の文章を読むと、説明文の仕組みがより分かったよ。今回学習した説明文の仕組みを書くときに使っていきたいな。